

スペシャルイベント 5月26日(日)
野草の生きかた：ふつうの人が世界を変える
上映会 映画『首相官邸の前で』
トーク 小熊英二×蔵屋美香

第8回横浜トリエンナーレは、「野草の生きかた：ふつうの人が世界を変える」と題し、小熊英二監督映画『首相官邸の前で』の上映と、小熊英二氏を招き蔵屋美香（横浜トリエンナーレ組織委員会総合ディレクター/横浜美術館館長）とのトークによるスペシャルイベントを、5月26日(日)に開催します。

小熊英二監督によるドキュメンタリー映画『首相官邸の前で』は、2012年夏、ごくふつうの20万人の人びとが首相官邸前に集まり、原発にまつわる政策に抗議した、奇跡的な瞬間をとらえた作品です。ひるがえって、第8回横浜トリエンナーレ「野草：いま、ここで生きてる」は、中国の作家、魯迅（ろじん、1881-1936）の詩集『野草』（1927年刊）からタイトルをとっています。

魯迅はこの本の中で、わたしたちひとりひとりが日々の暮らしの中で小さな行為を積み重ねれば、世界は変えられる、と語りました。世界を変えるのは、特別な英雄ではなく、魯迅にとってもやはり野の草のような「ふつうの人びと」なのです。

気候変動、災害、戦争、経済格差に不寛容。わたしたちの時代は多くの生きづらさを抱えています。「ふつうの人びと」はこれを変える力となりうるでしょうか。上映とトークを通して、みなさんと共に考えたいと思います。

【プログラム】

- ・ごあいさつ（13:30～13:40）
- ・上映 映画『首相官邸の前で』（13:40～15:30）
2015年 | 日本 | 109分 | 企画・製作・監督：小熊英二 | 配給：アップリンク
- ・休憩（10分）
- ・トーク「野草の生きかた：ふつうの人が世界を変える」（15:40～16:30）
小熊英二（慶應義塾大学総合政策学部教授）
蔵屋美香（横浜トリエンナーレ組織委員会総合ディレクター/横浜美術館館長）

【開催概要】

日時：2024年5月26日（日）13:30-16:30 会場：横浜美術館 レクチャーホール
定員：240名 ＊定員になり次第締め切らせていただきます 参加費：無料
＊事前予約不要、映画のみ、トークのみの参加も可能 ＊映画：日本語(英語字幕付き)、トーク：日本語
URL <https://www.yokohamatriennale.jp/2024/events/11081>



第8回 横浜トリエンナーレ 野草：いま、ここで生きてる

プレスリリース
2024年5月21日

小熊英二（おぐま・えいじ）

慶應義塾大学総合政策学部教授。学術博士。
社会学から日本近現代の研究に従事。主な著書
に『単一民族神話の起源』（新曜社、1995年、
サントリー学芸賞）、『＜日本人＞の境界』
（新曜社、1998年）、『＜民主＞と＜愛国＞』
（新曜社、2002年、大仏次郎論壇賞、毎日出版
文化賞、日本社会学会奨励賞）、『日本社会の
しくみ』（講談社、2019年）、*A Genealogy of
'Japanese' Self-Images* (Transpacific Press,
2002) など。



©生津勝隆

蔵屋美香（くらや みか）

横浜トリエンナーレ組織委員会総合ディレクター
/横浜美術館館長

千葉県生まれ。千葉大学大学院修了（教育学修士）。東京国立近代美術館勤務を経て、2020年より横浜美術館館長／横浜トリエンナーレ組織委員会総合ディレクター。第55回ベネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館（アーティスト：田中功起）キュレーターを務め、特別表彰。多摩美術大学客員教授。慶應義塾大学、東京藝術大学をはじめゲスト講師多数。



撮影：加藤甫



第8回横浜トリエンナーレ「野草：いま、ここで生きてる」

は、わたしたちに、災害や戦争、環境破壊、経済格差、不寛容など世界が抱えている多くの課題を投げかけます。展示作品には、息苦しさの中をたくましく生き抜こうとするひとりの人間の姿が映し出されています。

展示会のタイトルは、中国の国民作家、魯迅（ろじん、1881-1936）の『野草』に由来します。



右は、ウクライナのアーティスト「オープングループ」の作品です。

この映像作品は、ロシアによるウクライナ侵略に伴ってリヴィウの難民キャンプに逃れた人々に取材したものです。国民に配布された戦時下の行動マニュアルに想を得ています。そこには、音によって兵器の種類を聞き分けた上で、いかに行動するべきか、という手引きが示されています。武器の音を口で再現する人々の姿は、生きるために新たな知識が必要となったウクライナの今ある現実を生々しく伝えています。



オープングループ《繰り返してください》2022

開催概要 | 第8回横浜トリエンナーレ「野草：いま、ここで生きてる」

アーティスト・ディレクター：リウ・ディン（劉鼎）、キャロル・インホワ・ルー（盧迎華）

会期：2024年3月15日（金）－6月9日（日） 開場日数：78日間

休場日：毎週木曜日（6/6を除く）

開場時間：10:00－18:00（入場は開場の30分前まで） | 6月6日（木）－9日（日）は20:00まで開場

会場：横浜美術館、旧第一銀行横浜支店、BankART KAIKO、クイーンズスクエア横浜、元町・中華街駅連絡通路

主催：横浜市、（公財）横浜市芸術文化振興財団、NHK、朝日新聞社、横浜トリエンナーレ組織委員会

公式WEBサイト：<https://www.yokohamatriennale.jp/>

【プレスリリースお問い合わせ】 第8回横浜トリエンナーレ広報事務局（株式会社プラップジャパン：本郷、藤井、畑野）

E-MAIL：yokotoripr@prap.co.jp TEL：080-5887-1091（平日9:30～18:00）

【横浜トリエンナーレ組織委員会お問い合わせ】 横浜トリエンナーレ組織委員会事務局 広報担当（石川、西山、山本）

E-MAIL：press@yokohamatriennale.jp TEL：045-663-7232（平日10:00～18:00）

広報用画像貸出等プレス向けサイト：<https://www.yokohamatriennale.jp/press/>